

◎基本構想・基本計画の変更概要について

1. 10月1日付の事務連絡をもとに新たに頂いた意見（本日も議論頂きたい部分）

ページ	意見の概要
3	「変化を力に進むまち。横須賀市」というコピーが凡庸なものに思え、2030年の未来像がビジュアルとして立ち上がってこない。
33	「地勢的特徴を踏まえた、都市基盤や都市構造を整備・強化を推進するだけでなく、」の文章が読みづらいので、「地勢的特徴を踏まえて、都市基盤や都市構造の整備・強化を推進するとともに、」と修正してはどうか。

2. 前回の総合計画審議会での意見に基づく主な修正（答申案に反映済のもの）

ページ	意見の概要	対応
3	「街を去る若者もおり、空き家は更に増加しているかもしれない」「未来に悲観する40万人」など、ネガティブな言葉が並んでいる。もう少し前向きな未来像にすべきではないか。	社会情勢等の変化は示しながらも、必要以上にネガティブにとられてしまう言葉は避ける文書にしました。
3	・今まで使ってきた「国際海の手文化都市」の要素もどこかに示した方がよいのではないか。 ・横須賀はやはり半島文化であり、その風土というものも示した方がよいのではないか。	国際海の手文化都市の要素や、横須賀の風土について記載いたしました。
3	変わって欲しくないものはたくさんあるが、変わらなきゃいけない部分もあると自覚している。その両方の要素がある未来像がよい。	社会情勢の変化の中で、変わっていかねばならないこと。一方で変わるためには、「変化の中でも変えてはならないもの」が大切であることを示した未来像としました。
4	「楽しいが仕事になる」というのは、綺麗ごと聞こえてしまう。「やりがい」などの方がしっくりとくる。	しごとの未来について、「「やりがい」と「やりたい」からしごとが生み出されるまちへ」と記載しました。
5	ICT技術、AI等デジタルの活用についてどの分野にも関わることなので、非常に重要であり、活用していくことを示すべきである。	全分野に共通する項目として、横須賀市が目指す未来を実現していくにあたっては、ICT技術、AI等デジタル技術を含めた、さまざまな新たなテクノロジーの活用が必要であることを示しました。
43	「稼ぐ。そして守る」とあるが、海洋は横須賀にとって重要な地域資源であり、未来に向かって海の可能性を探るということは非常に重要だと思う。 未来に向かって海の可能性を探ることが非常に重要になる中で、稼ぐことも含めて、可能性を拓くというのが全般のイメージなのではないか。	ご指摘の趣旨を踏まえて「海を拓く。そして守る」と修正いたしました。
68以降	横文字など分かりにくい表現があるので、用語の説明を後ろにつけてはどうか。	用語集を作成いたしました。